

第1回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成17年12月8日（水）午後1時31分～午後3時38分

会 場 八幡総合支所第1会議室

◎出席者

1号委員 安藤 浩夫 佐藤 ひとみ 遠田 清之 小野 明美 堀 茂雄
加藤 智子

2号委員 大瀧 雅士 村上 三喜郎 荒生 豊 佐藤 貞夫 後藤 順子
高橋 知美

3号委員 田村 和徳 後藤 泉 池田 善幸

酒田市長 阿部 寿一 企画調整部 地域振興調整監 大瀧 太一

八幡総合支所 支所長 三柏 憲生 地域振興課長 羽根田 篤 産業課長 畠山 修

教育振興室長 松田 文夫 地域振興課 地域振興主査 佐藤 弥

企画調整部 企画調整課 地域振興室 地域振興主査 後藤 重明

議事日程

1 開 会

2 市長あいさつ

3 委員自己紹介

4 会長及び副会長の互選

5 会議録署名委員の指名

6 協 議

(1) 地域協議会の設置趣旨と仕組みについて

(2) 会議運営について

(3) 会議の持ち方及び今後の予定

- ・ 第2回協議会（勉強会・1月中旬）〔旧酒田市のコミュニティ組織の現状、課題の意見交換〕

- ・ 第3回協議会（2月上旬）〔平成18年度予算要求の概要（地域づくり予算）、課

題の意見交換]

(4) 市の関係部署の紹介

(5) 酒田市の各種計画等について

・ 地域づくり予算について

・ 建設計画について

(6) 地域づくり課題について

7 閉 会

1 開会 … 進行を務める地域振興課長が開会を宣言する。

2 市長あいさつ

合併し1か月あまりになった。合併の議論の中で大切に骨子として位置付けられてきたのが、総合支所の取扱いと各3町に置く地域協議会のことだ。多くの皆さんから不安の声が聞かれるが、当然のことだと思う。私たちは、ともに地域づくりを進めるものとして、新しい町における希望というものを一つでも二つでも実現していくのが重大な使命だ。そして同時に不安があるとすれば、地域の皆さんとともに解決をしていくことも重要な使命である。地域の皆さんの意見を伺いながら、合併後いろいろ想定される不安、課題を解決していく、そしてまた地域の振興のためのいろんなアイデアを皆さんから伺いたい。

地域協議会は、行政と地域の橋渡し役として期待されている。また、地域の皆さんにとって、これからのまちづくりをどういうふうに進めるか。行政と市民は、私たちの地域、暮らしを良くするパートナーとして考えていくべきでと考える。

また、当地域はコミュニティが育ちつつある地域である。このようなコミュニティや地域のさまざまな団体が、行政とパートナーとなって、地域づくりが進められる地域を作っていくことこそが、きめ細かな行政を展開していくうえ大変大事なものと思っている。本当の意味でパートナーになるためには、地域の皆さんの独自の団体、私的な団体として大いに育っていかなければならない。この地域協議会は、地域の皆さんと行政の橋渡しの役割があると述べたが、もう一つの役割として地域づくりの原点とでも言うべき、地域コミュニティを育成していくことによって、行政としての市民の皆さんがパートナーである、行政との協同の体制を作り上げていくことも協議会の大きな役割であろうと願っている。そのことを実現することによって、きめ細かな行政を進めていくことができる。独自性を進めていくことができるものと思う。

以上、皆さんにご期待することを述べさせていただいたが、八幡地域の皆さんからも何年か後に、合併してよかったと思える地域づくりのために、皆さんから力添えをいただきと思っている。よろしく願います。

3 委員自己紹介 … 自己紹介

4 会長及び副会長の互選

○事務局 条例の5条に会長、副会長の選出は、委員の互選によって定めるとある。皆さんからこの会の代表、まとめ役を推薦いただきたい。

○委員 前教育委員の後藤純子さんが会長に適任と思う。

○事務局 後藤純子さんが適任とあったが、よろしいか。

○委員 私も良いと思う。

○事務局 後藤さんに引き受けていただきたいと思うが如何か。

(一同、異議なしの声、賛同の拍手あり。)

○事務局 それでは後藤さん会長をお願いします。続いて副会長はどなたがよろしいか。

○委員 大瀧雅士さんでどうか。

○事務局 皆さん如何か。

(一同拍手、賛同の声あり。)

○事務局 それでは副会長には大瀧雅士さんをお願いします。それでは会長から進めていただきたい。

(以後、会長が議長に就任する。)

○議長 急な話で、私も戸惑っているがよろしくお願ひしたい。次第5番の、会議録署名委員の指名だが、要約した会議録でよいと考えるが如何か。

(同意の発言あり)

5 会議録署名委員の指名

○議長 次に会議録署名委員の指名を行う。会議録の署名は、「議長及び会議において選任された委員1名が署名しなければならない」とある。そこで提案だが、委員名簿の順番で決めて行きたいと考えるが、如何か。

(委員から異議なしの声)

○議長 それでは委員名簿1番の安藤浩夫さんを指名する。

6 協議 … (事務局説明の後質疑・意見交換)

(1) 地域協議会の設置趣旨と仕組みについて

(2) 会議運営について

(3) 会議の持ち方及び今後の予定

- (4) 市の関係部署の紹介
- (5) 酒田市の各種計画等について
 - ・ 地域づくり予算について
 - ・ 建設計画について
- (6) 地域づくり課題について

○議長 地域づくりの課題について、日ごろ考えていることなどを話していただきたい。

会議の開催時間の設定はどうか。

○委員 私はサラリーマンで、この委員に応募したときから、夜の会議開催は期待していない。夜のほうがよいが、ただ重視していない。

○事務局 集まりやすいとすれば、夜の会議や公民館を使うことも考えたい。新しくなった一條公民館を使うのも良いのでは。

○委員 育児支援センターは3時30分までしか乳児を預かってくれない。会議開催が1時からになれば預けて来られる。今日は主人から仕事を休んでもらって来た。夜になるとかなり出るのがむずかしい。

○委員 会議の持ち方だが、テーマを絞って会議を開催もいいのでは。テーマがあらかじめ与えられれば、考えをまとめてこられる。

○事務局 年3、4回の開催で時間が限られていることから、テーマを絞って議論するのは難しい。しかし、通常考えていることをいつでも届けていただくことはできる。第2回協議会は、旧酒田市内のコミュニティ組織を理解していただく会議を予定している。

○委員 みんなで勉強していったほうが良いと思うので、あと2回は全体会でいいのではないかと思う。その中から課題を見つけられたら、その課題を話し合っていくことでどうか。

○議長 2回、3回目は全体会でという意見だった。2年度目から課題を見つけて話し合いをしていくということでは如何か。5日前に会議の案内をするということだが、仕事の関係上、もっと前なら予定を立てやすい。

○事務局 2週間前に予告という形の案内を出したい。資料は取りまとめに時間がかかるので、5日前まで配布することにしたい。次回の会議についても、今日の会議のなかで日程を決めていただければ助かる。

○議長 次回は1月中旬の予定のようだが、この場で日程を決めれば良いようだ。皆さん

よろしいか。

(委員協議の末)

- 議長 次回会議は1月19日(木)、午後1時から3時までの開催し、場所は一條公民館ホールとする。そのほかの意見、質問等を。
- 委員 選挙看板掲示場所が平田は60余りだが、八幡は95か所とかなり多い。以前の小さい看板ではさほど感じなかったが、皆さん見てのとおり、かなりの金がかかっている。無駄だ。次の選挙からは、箇所数を減らしても大丈夫だ。新市になったし、そろそろ変えるべきだ。これは住民の率直な気持ちだと思う。
- 事務局 市全体で548か所、八幡は95か所だ。ポスター掲示場所の数は法律で決まっている。簡単には変えられないことは理解いただきたい。投票所は13か所あるが、これも多すぎるという話もある。これは減らすことができる。
- 委員 投票所を減らすとなると、投票率が下がると思うので、投票所を減らすことはできないと考える。看板が減ってもなんら支障がないので、これは減らすことは可能だ。
- 委員 選挙の立候補議員の後援会看板は、連絡所とのいう性格の看板だ。八幡町では、自宅1か所の設置で、ほかは外すと申し合わせて決めたが、市議会議員選挙が始まったら、八幡郵便局前は花咲いている状態だ。観光の見地からすると見苦しい。八幡地域の中で、地域協議会の話の中で、規制できるようにならないか。
- 事務局 看板は許可を受け、地主の了解があれば立てていいことになっている。また、連絡する人がいないと立てられないものではないはず。しかし確かに見苦しい、観光客を誘客する八幡とすれば別のところに立てることはいかなものか。
- 委員 家の前であれば、許されることと思うが、交差点に立てておくというのはおかしい。法律どうこうでなく、地域としてお願いしてでも、改めていく方法を取らなければならない。せっかく地域協議会があるのだから、我々の気持ちを申し上げていかなければならない。
- 議長 看板がずらりと立っているのは、地域の方から見苦しいという意見があった。
- 委員 法の中でやっている訳だが、立てる、立てないは、後援会なり議員の話し合いでできるはず。「協議会でこういう話が出たよ」と議員に話をしていく。外す、外さないは、次の選挙のときに結果が出る。
- 委員 八幡議会では申し合せで撤去した経緯がある。ただ問題は、八幡地域にほかの地域

の立候補者の看板が立っている。そういう人にも撤去の協力をお願いする。選挙が終わったら撤去する、選挙の動きが出てきたらまた立てる。市民から見ると、何年も同じ場所に立っているより、新鮮に見えるのではないか。

○委員 話は別になるが、二つ話を。市長所信表明の中でも、市報私の街さかたでも、『夢のあるだとか、希望の持てるとか』とよく出てくる。観光をとってみると、将来は、鳥海でないかと思っている。八幡を抜きにしては、鳥海山観光はありえないくらいの自負を持っていい。では具体的に何をすれば良いかだが、ただ黙っていても自然は守っていけない。

以前、八幡町共用林野運営協議会があり、山菜取りにきた町外の人から1人千円の協力をいただき、山のクリーン作戦だとか、人が山に入ったとき道に迷わないように刈り払いをしたり、清掃活動をしていた。だから、八幡は水の郷が守られてきたということが言える。合併協議の中で、共用林野を反対されてやめることになった。自然は人の手が加えられて守られていく。そういうことも新市の中で予算化していただきたいと要望したい。

廃棄物監視の面でも、共用林野で監視するようになって持ってこなくなったという実績がある。

もう一つ。今、八幡中学校の全校生徒で227人だそうだ。今年の卒業生は90人。毎年90人前後の子どもたちが巣立っていくわけだ。将来、自分が生まれた山形県に帰って来たいかというテレビのアンケートで、ほとんどの若者は帰って来たいが自分がしたい仕事がないから来れない、ということだった。我々は地域づくり、人づくりに協力してきた。しかし、人つくってきたけれど地域には残らない、東京のために人づくりをしたのではという理解になってくる。そうしたとき、ソフト面だけでなく、ハード面の企業誘致にももっともっと力を入れてもらわないと繁栄はないことになる。

○委員 一つ観光ということ話し合っても、諸々の問題が出てくるのだから、今日はアウトラインを出しただけでいいことにして。総花的ではだめだから、ポイントを絞った話し合いをするようにしたほうがよいのでは。

○委員 一つの課題を徹底的に話し合っていく手法をとらないと、負担が多すぎてしょうがない。

○事務局 共用林野の話だが、条例は廃止なっていないはずだ。

○委員 共用林野は、山火事の防止、山道の刈り払い、事故対策などのボランティアをする分として、山の産物を採ってもいいということで、規制しているもの。それが升田は奥山、

黒川、草津はウツタテ、大沢は大俣のほうと全部決まっている。入山料に反対だとか言うのはもってのほかだ。

○事務局 旧八幡の住民だけが無料というわけにいかない。同じ市民なのだから無料にということだ。これまでの入山料が入らなくなる訳なので、財源ないことによって、乱獲対策、事故防止対策をどうするかという話になってくる訳だが、それを地域協議会の中で意見として、平田、松山、あるいは酒田市民がわからないとすれば、こういうものは必要なんだから予算化してほしいと意見を申し上げなければならない。

○委員 町道、農道全てボランティアで、他では町から金もらって刈り払いやしているところを、ほとんどボランティアでやっている。昔からそういう考え方で協力してきた。大事なことから。

(午後3時20分、後藤議長都合により退席、代わりに大瀧副会長が議長務める。)

○議長 会長が帰りの時間になったので、代わりに私が進行させていただく。終了の予定を3時30分としたい。

○委員 具体的な話が出てくると、その答弁のために部長などの幹部職員を呼ぶことができるのか。

○事務局 協議会に入ることは考えていない。地域協議会は協議会全体の意見としてまとめて、それを市で取り上げ運営するとか、あるいは議会にお願いするという形で、意見を申し上げる場と考えている。総合支所の課長は支所で行なわれている各事業や業務について把握しているので、聞きたいことがあり資料をとということなら支所の課長が参加することは考えられる。

○委員 参考資料を提供してもらいたいと言うことはできると。ほとんど決まっていることで、現状のルールが決まっていることについては要望に応えられる訳だ。

○事務局 あらかじめでなくとも、いまこれが話題になっているので、資料ありませんかということなら出せる。

○議長 どなたか意見はないか。

○委員 今日は、平田、松山の委員と合同で会議やるのかと思っていた。平田、松山の方々の意見を聞きたいので合同の会議を持てないか。

○事務局 地域協議会は合同でやるものではない。ある程度決まった事項があって、会長なり部会長なりが合同で集まるというのであれば考えられるが。委員同士の情報交換すること

はいいと思う。会議自体は公開で、会議録については公開が原則となる。他の協議会でどういう話がされたか知りたければ、会議録は出せる。協議会は、市に対して何か要望するための団体ではない。前向きな話し合いをする場であって、対決する関係にはしたくない。

○委員 その話、どうも不可解というか、理解できない。酒田は一つと考えていくこと、あくまでも3町独自でとか、3町云々といっているようでは一つにならない。意見交換を多くやって、自分の地域はどうしなければならないとかの話し合いができる訳だから。

7 閉 会

○議長 色々意見があったがそれらも含めて、次回の第2回地域協議会から、ぜひ皆さんからの的を絞って、勉強会ということだったので全体会として行いたい。

これで平成17年度第1回八幡地域協議会の会議を終了する。